

ユダ書

一 イエスキリストの僕にしてヤコブの兄弟なるユダ書

を召された者、即ち父なる神に愛せられたイエスキリスト

二の爲に守らるる者に贈る。願くは憐憫と平安と愛と、汝ら

に増さんことを。

三 愛する者よ、我れらが共に與る救に就き勵みて汝ら

に書き贈らんとせしが、聖徒の一度つたへられたる信仰の

ために戦はんことを勧むる書を汝らに贈るを必要と思へ

四り。そは敬虔ならずして我らの神の恩恵を好色に易へ唯

一の主なる我らの主イエスキリストを否むものども潛入

聖書改譯原稿用紙

りたればなり、彼らが此の審判を受くべきことは昔より慎

いめ録されたり。

五 汝らは素より凡ての事を知れど、我さらに汝等をして

思ひ出さしめんとする事あり、即ち主エジプトの地より民

六を救ひ出して後に信ぜぬ者を亡し給へり。又おのが位を

保たずして己が居所を離れたる御使を、大なる日の審判ま

七で闇黒の中に、とこととはの繩目をもて看守し給へり。ソド

ム、ゴモラ及びその周圍の町、亦之と同じく、淫行に耽り

背倫の肉慾に走り、永遠の火の刑罰を受けて鑑とせられた

八り。斯のごとく、かの夢見る者どもも肉を汚し、権威ある

聖書改譯原稿用紙

九 者を軽んじ、尊き者を罵る。御使の長ミカエル悪魔と論じ

てモーセの屍體を争ひし時に敢て罵りて審かすなむ。頭く

十は主なんぢを戒め給はんことをいと云へり。されど此の人

人は知らぬことを罵り、無知の獸のごとく自然に知る所に

十一よりてこぶるなり。禍害なるかな。彼らはカインの道にゆ

き利のためにはバラムの迷に走り、又コラの如き謀反により

十二てこびたり。彼らは汝らと共に宴席に興り、その愛餐の暗

礁たり、憚らずして自己をやしなふ牧者、風に逐はるる水な

十三き雲、枯れてまたかれ、根より抜かれたる果なき秋の葉、お

のが恥を湧き出す海のあらき波、さまよふ星なり。彼らの為

十四に暗き闇とこゝへに蓄へ置かれたり。アカムより七代に

十五當るエノク彼らに就きて預言せり。曰く、視よ、主は具の聖な

る千萬の衆を率ゐて來り給へり。これ凡ての人の審判を

なし、凡て敬虔ならぬ者の不敬虔を行ひたる不敬虔の凡て

の業と、敬虔ならぬ罪人の主に逆ひて語りたる凡ての甚だ

十六しき言を責め給はんとしてなり。彼らは眩く者、不満をふ

らす者にして、己が慾に従ひて歩み、口に誇を語り、利のため

十七に人に諂ふなり。

十八愛する者よ、汝らは我らの主イエスキリストの使徒た

十九ちの預じめ云ひし言を憶えよ。即ち汝らに曰らく、末の時

大異奉「争ふ者」を
言伏せとあり

瑕

九 嘲る者おこり已が不敬虔なる態に従ひて歩まん。彼

手らは分裂をなし、情態に属し御霊を有たぬ者なり。されど

愛する者よ、汝らは己がいと、甚潔き信仰の上に徳を建て、聖霊

によりて祈り、神の愛のうち己を守り、水こしへの生命

を得るまで我らの主イエスキリストの憐憫を待て。又か

れらの中なる疑ふ者を憐み、或者火より取出して救ひ

或者をその肉に汚れたる下衣を厭ひかつ懼れつ、憐め

別行願くは汝らを守りて躓かしめず、疵なくして栄光の御

前に歡喜を以て立つことを得しめ給ふ者、即ち我らの救

主なる唯一の神に栄光、稜威、能力、権威われらの主イエスキ

聖書改譯原稿用紙

りストに由りて萬世の前にし今し萬世までし在らんこと
をアアメン。